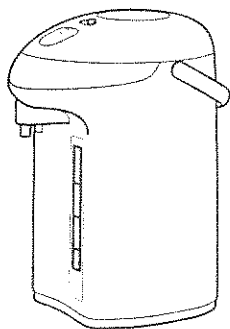


タイガーエアーポット 〈おす軽〉 (水量計つき)

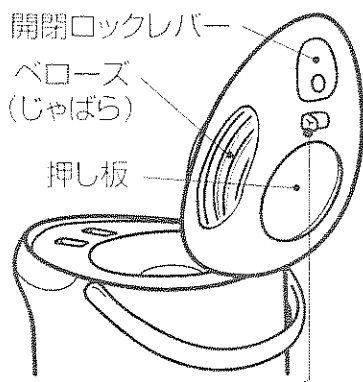
品番
PNU-A



取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

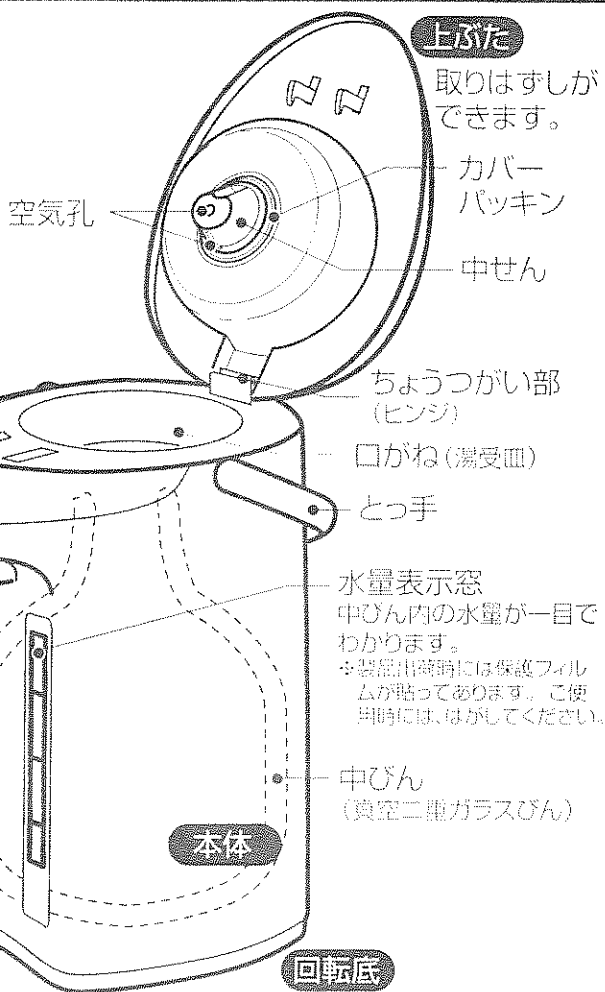
各部のなまえとはたらき



安全ストッパー
ロックとは押し板を固定する機能ですので、安全ストッパーをロックにしている場合でも強い振動や衝撃（倒す・落とす・ぶつける等）を加えますとお湯が流れ出てやけどをする恐れがあり危険です。

吐出パイプ
着脱できます。

注ぎ口



水量表示窓
中びん内の水量が一目でわかります。
※製品出荷時には保護フィルムが貼ってあります。ご使用時には、はがしてください。

中びん
(黄空二重ガラスびん)

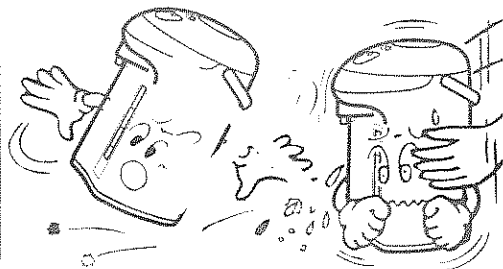
回転底

必ずお守りください

もれたりあふれたりすると、やけどやサビが発生したり他のものを汚す原因になります。

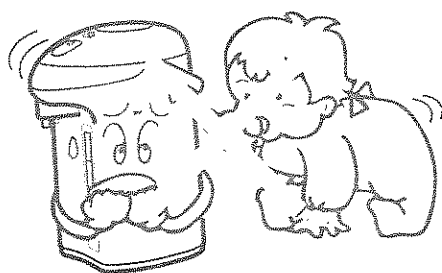
倒したり落としたりぶついたり、強い振動(特に上下の振動)衝撃を加えないでください。

中びんが破損したり、お湯が出てやけどをするおそれがあります。



乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには充分にご注意ください。

やけどなどのおそれがあります。



コンロやストーブなど、火気の近くや直射日光のあたる場所では使用しないでください。

樹脂部の変形、変色の原因になります。

自動車の中では使用しないで。

やけどや汚れの原因になります。

ふたは確実に閉めて、ご使用ください。

持ち運びの際には

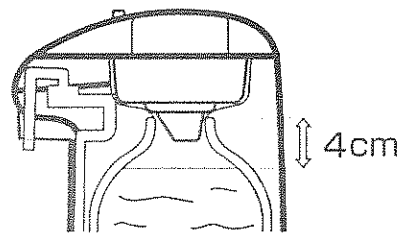
- 安全ストッパーを、必ず、〈ロック〉にセットして振動(特に上下の振動)を与えないようにしてください。
- テーブルなどに置くときは衝撃を与えないよう、そっと置いてください。
- とっ手を持って持ち運んでください。上ぶたを持ったり、傾けたり横にして持たないでください。

お湯が出てやけどの原因になったり、中びんが破損して危険です。

お湯の量はびん口より4cm少なめに

入れすぎると、上ぶたを開めるときにあふれることがあります。

(口がねの樹脂部下端を目安に)



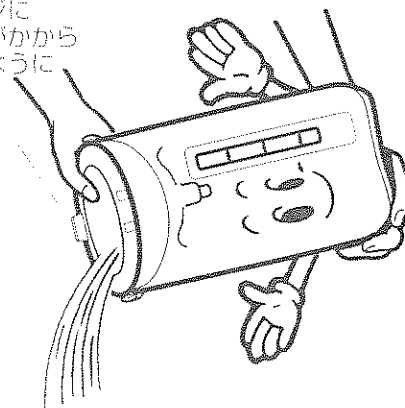
お湯が少ないときは押し板を強くおさないで

注ぎ口からお湯が飛び散ることがあります。

残り湯を捨てる場合は、上ぶたを取りはずし、注ぎ口は必ず横に向けてください。

本体内部に水が浸入して故障の原因や他のものを汚す恐れがあります。また、注ぎ口が下を向いていると注ぎ口からお湯が出てやけどや汚れの原因になります。

ヒンジにお湯がかからないように



次のものは入れないでください。

- ドライアイス、炭酸飲料など(内圧が上がり、内容物が吹き出るおそれがあります。)
- 牛乳、乳飲料、果汁など(腐敗、変質の原因)
- お茶の葉、コーヒー、麦茶、紅茶など(目づまりや、もれる原因になります。)



飲料物の保温、保冷以外に使用しないでください。

急熱、急冷はしないで

冷たいものを入れた直後に熱いものを入れたりその逆は、中びんの破損の原因になります。

氷を入れた場合ポットを強くゆすったりしないでください。

中びんの破損の原因になります。



本体の丸洗いはしないでください。

水が浸入し故障の原因や、他のものを汚すおそれがあります。



分解修理はしないでください。

故障や事故の原因になります。

ご注意とお願い

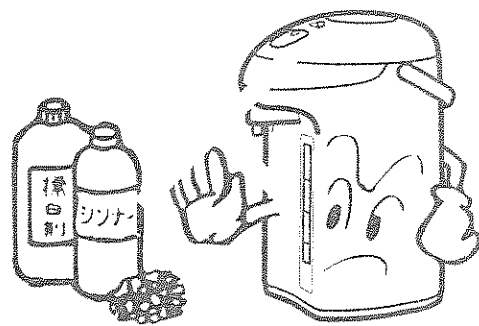
ポットの肩部分に熱いやかんをあてないでください。

傷や変形の原因になります。



シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。

傷、故障の原因になります。

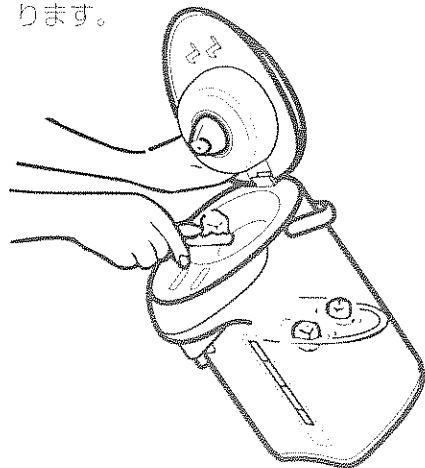


氷を入れる場合は次の手順で

1 先に水を入れる。

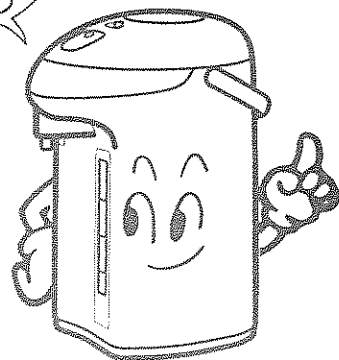
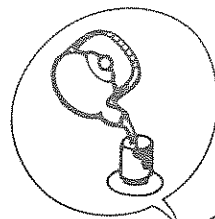
2 小さく砕いた氷を、本体を斜めにしてすべらすように入れる。

(そうしない場合中びん破損の原因になります。)



熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

中びんにはお湯を入れ、お茶のときは急須などのご使用をおすすめします。



ご使用方法

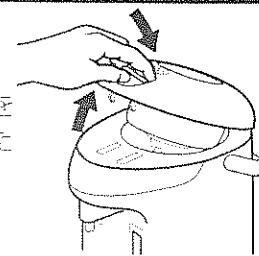
ご使用前に必ず中びん、口がね、注ぎ口を洗ってからご使用ください。

1 上ぶたをあける。

1 安全ストッパーを〈ロック〉にセットします。

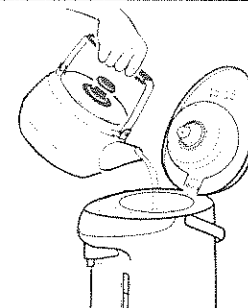


2 開閉ロックレバーをつまみ上げ、上ぶたを開けます。



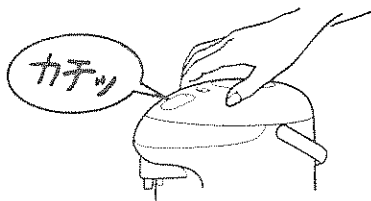
2 お湯(水)を入れる。

1 保温効果を高めるため、あらかじめ少量の熱湯を入れ予熱しておきます。
2 予熱後はそのお湯を捨て、新しいお湯を入れます。



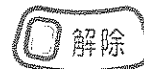
3 上ぶたを閉める。

上ぶたをカチッと音がするまで確実に閉めます。

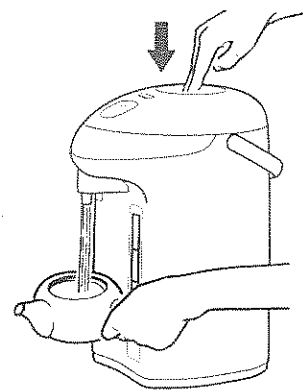


4 お湯(水)を注ぐ。

1 安全ストッパーを〈解除〉にセットします。



2 容器を注ぎ口に近づけ、押し板のまん中をゆっくりと押します。

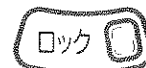


※注ぎ口から「しずく」が落ちることがあります。(特に、吐出パイプが汚れてきた場合)そのときは、しずくが落ちきるのを待ってから容器をおとりください。

5 注ぎ終わったら。

●安全ストッパーを必ず〈ロック〉にセットします。

●毎日残り湯を捨て、お手入れの後で新しいお湯を入れてください。



※お手入れをおこたったり、残り湯を長い間入れたままにしておきますと、各部はもちろん、特に水位管の汚れが目立ってきます。

お手入れの方法

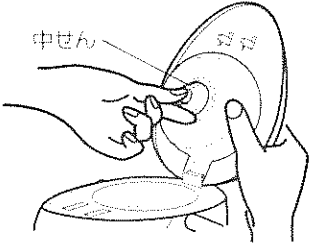
ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために必ずその日のうちにお手入れをしてください。

- シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。
- 洗剤は必ず台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をご使用ください。
- 洗剤分は後で十分に洗い流してください。
- 保存される前には次の要領で各部を充分にお手入れをし、よく乾燥させた後、湿気の少ない場所に保存してください。

| | | |
|--------|--|--|
| 本体・上ぶた | 洗剤をうすめたお湯をやわらかい布にふくませ、かたくしぼり汚れをふきとります。後は柔らかい布で空ぶきします。 | ※本体の丸洗いはしないでください。故障の原因や他のものを汚したりします。 |
| 吐出パイプ | 吐出パイプは洗剤をうすめたお湯の中で、やわらかいスポンジで洗います。内部は、洗剤をふくませた布をワリバシに巻きつけ、内側の汚れをふきとってください。 | ※煮沸はしないでください。変形することがあります。 ※損傷しないよう、ていねいに取扱ってください。 ※吐出パイプは汚れがひどくなると、注ぎ口に“しずく”が残ります。 |
| 中びん | お湯でうすめた洗剤液を柄のついた柔らかいスポンジブラシに含ませ、ていねいに洗います。（フレーク発生の場合は、別項を参照） | ※たわしやみかき粉、金属製たわしは絶対に使用しないでください。中びんに傷がつき、破損の原因となります。 |

修理を依頼される前の点検方法

次の点検をしてもなお不具合の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

| このような場合 | 点 検 | 処 置 |
|--|---|--|
| <p>お湯が出ない 出にくい</p> <p>※各部パッキン類は消耗品です。半年から1年を目安に、汚れが目立ってきたら、お買い上げの販売店にお問合せのうえ、お買い求めください。</p> | <p>カバーパッキンがはずれていませんか？</p> <p>ベローズが損傷していませんか？ ※中せんの穴2ヶ所に指をあてて、押し板を押し最後まで下がるようでしたらベローズが損傷しています。</p>  | <p>はずれていれば取りつけてください。</p> <p>破損していましたら、修理が必要です。お買い上げの販売店へご相談ください。</p> |
| <p>お湯が さめやすい</p> <p>※保温効果は、沸とうしたお湯をできるだけ多く入れる程、高くなります。</p> | <p>上ぶたがきっちりと閉まっていますか？</p> <p>熱湯をほぼ満量入れ、30分後本体を手でさわってみてください。</p> | <p>きっちりと閉めなおしてください。</p> <p>もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店に中びん修理をご依頼ください。</p> |

※プラスチック部分に線状および波状の箇所が見える場合がありますがこれはウエルドラインおよびフローマーク（樹脂成形時に発生する線状および波状の跡）でご使用上の品質に支障はございません。

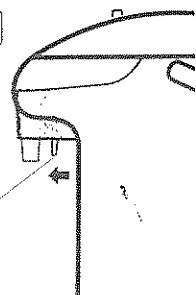
吐出パイプの着脱方法

- 安全スッパーを必ず〈ロック〉にセットします。
- ※〈ロック〉になっていないと、誤って押し板を押したときにやけどをします。

取りはずし方

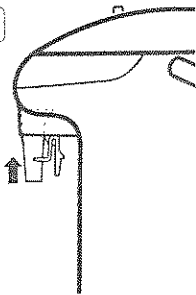
吐出パイプのつまみを手前に引き、下へはずします。

つまみ



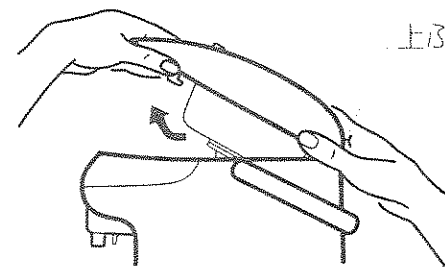
取りつけ方

本体に下からカチッと音がするまで確実に差し込む。



上ぶたのはずし方

上ぶたを45度を開けた状態で、上ぶたちょうつがい部を注ぎ口方向によせてから上に持ち上げます。



上ぶたちょうつがい部

フレークスが発生した場合のご注意

まほうびんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものを見つかることがあります。これは「フレークス」と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、中びんに食酢を約10%加えた湯を入れておき、30分～1時間後、やわらかいブラシなどで、びんの内壁をよく洗ってからお使いください。

※中びんは、フレークスが発生しない場合でもときどき同じ方法でお手入れしていただくと効果的です。

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、お買い上げの販売店、または、連絡先に記載のタイガーのもよりの支店、営業所へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけ詳しく)

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問合せください。

※中びんその他の破損修理、各部品の別売りもいたしております。

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。